

# 平成10年度 特別会計予算

4月号で一般会計予算をお知らせしましたが、町の予算は一般会計のほか特別会計として国民健康保険等5事業会計から成っています。これらの特別会計についてそれぞれお知らせします。

## 国民健康保険

国民健康保険は、職場の健康保険などに加入していない人が加入する保険で、病気をしたときに経済的な心配がなく、安心して医療が受けられる制度です。この制度を支えているのがみなさんの納める保険税で、医療費にあてる大切な財源となっています。

国民健康保険特別会計予算は、対前年比三・三%増の六億五、四四六万円になりました。今年度の町内の国保加入者は二、九七〇人（うち退職者被保

険者三三〇人）と見込んでいますが、近年加入者の高齢化が進む中、医療技術の高度化に伴う医療費の増加などから、国保の運営は年々厳しさを増しています。

医療費の節約のためには病気の早期発見、早期治療が欠かせません。そのため国保では、人間ドックの経費を助成していただきますのでご利用ください。

医療費の適正化と保険料収納率の向上に努めるとともに、加入者の健康保持と国保の健全財政を確保します。

## 老人保健

老人保健特別会計予算は、対前年比六・〇%減の八億九、一三四万円になりました。

今年度の対象者は一、三四七人（年間平均）で、一人当たりの医療費は六十六万円にもなりません。

老人保健は、医療保険の拠出金（皆さんが払っている保険料から）と国及び県の負担金、町からの繰入金（税金から）で運営されています。

対象者が増加しているため、全体の医療費の増加は仕方ないことですが、病気の早期発見、早期治療に努めて、一人当たりの医療費を少なくしましょう。

## 水道事業

水道事業会計予算は、対前年比九・四%減の二億二、〇五〇万円となりました。これは下水道工事に伴う配水管布設工事が少なくなったためです。

今年度の水需要は、前年度と同量の年間一四七万m<sup>3</sup>と見込んでいます。これは、下水道の普及や住宅の増加により一般家庭用はある程度増量は見込まれませんが、経済不況により工場用、営業用の増量は期待できない状況にあります。しかし、水の安全かつ安定した供給を図るため浄水場（新潟市と共同施設）の適正な運営管理を図ると共に老朽化した石綿管の布設替え等配水管の改良に努めます。

## 下水道事業

昭和五十四年度に着手した本町の下水道事業も十九年目を迎え、整備区域三〇〇ヘクタールのうち二四四ヘクタールを完了し、全町民の八十六%の方々が下水道を利用することが可能となりました。

下水道事業特別会計予算は、対前年比一・七%減の八億一、〇〇〇万円、下水道工事に三億六、三〇〇万円、その他設計

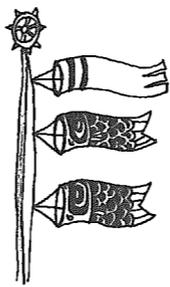
## 家畜診療所

家畜診療所特別会計予算は、対前年比八・七%増の一、五五〇万円になりました。

町の畜産は、酪農と養豚が盛んに行われています。

畜産は町の農業の中でも基幹的役割を担い、診療所ではこれを助長するために、農家、関係機関、団体と連携を図り、診療や飼育管理等を行っています。

診療所の運営にあたっては、新潟中央農業共済組合、JA亀田郷みなみ、酪農組合、町からの負担と診療収入により運営されています。



## 5 特別会計の予算規模

( ) 内は前年度比

- 国民健康保険特別会計 6億5,446万円 (3.3%増)
- 老人保健特別会計 8億9,134万円 (6.0%減)
- 水道事業会計(支出) 2億2,050万円 (9.4%減)
- 下水道事業特別会計 8億1,000万円 (1.7%減)
- 家畜診療所特別会計 1,550万円 (8.7%増)

## 退任のご挨拶

前助役

佐藤 昭衛

(亀田町袋津)



この度、四月三十日をもちまして横越町助役を退任させていただきます。

大変長い間、多くの皆様からご指導、ご鞭撻を賜り、助役として十五年間勤めてまいりましたが、家庭的事情により職責を果たし得ず、任期中の退任となりましたことは、町民はじめ関係機関等に多大なご迷惑、ご不便をおかけすることとなり、心から深くお詫び申し上げます。第であります。

顧みまして、昭和二十一年から役場職員として働くことができ、しかも身に余る職責を頂き

ながら、戦後の横越町の歴史とともに生き、優れた先人、先輩を師として多くのことを学び得たことは、誠に有意義な人生であったと、思いを深くいたしております。今更その幸運に、唯々感謝と御礼を申し上げますのみであります。

横越町は、不肖、私が生まれ育った故郷であります。新生横越町が二十一世紀に向けて、一層すばらしい発展をされますことと、町民の幸福を祈念申し上げます。退任のご挨拶といたします。

## 地域を守る消防団に 今年度は二十九名が入団

災害から地域を守る消防団の新戦力として、四月一日より二十九名が新たに入団しました。四月十二日に、小学校グラウンドで新入団員講習と町内各分団の幹部研修、亀田町消防署横越町分署員の指導による操法訓練が併せて行われました。

新入団員は次のとおりです。

- 協力員 小林政威、物井輝光
- 第一分団(横越) 中村正之、齋藤 学、武藤裕一、田中禄之、本間徳和、茅原忠則、物井 博、神田武行、藤田正樹、田中幸司、細山 敬、高橋 徹、柴沢克也、高橋 努
- 第二分団(沢海) 伊藤 満、小池紀昭、佐藤 浩、目黒章浩、伊藤 勲、桑原正裕、五十嵐克哉、伊藤 進、清田俊彦、嶋原浩一、高橋 敦
- 第三分団(小杉) 遠藤敏明、田村唯次、山崎 昇
- 第四分団(木津) 佐藤一昭、谷内田隆、齋藤 透
- 第五分団(二本木) 仲村浩行、五十嵐正志、渡辺 等
- 第六分団(藤山・駒込) 田村秀則、岩田明人、石倉新吾

## 平成10年度区長

区長さんは、地域の取りまとめ役、住民と役場のパイプ役として重要な役割を担っていただいております。平成10年度の各地区の区長さんは次のとおりです。

区 長	地区名
佐藤 守	横越上
小林 二雄	横越中第1区
石塚 芳富	横越中第2区
武藤 繁男	横越中第3区
坂井 正四	横越下
佐久間 正夫	川根谷内(旭区)
本藤 光男	川根谷内(緑区)
三田 富一	川根谷内(栄区)
伊藤 榮藏	川根谷内(茜区)
伊杵 鞭章	沢海 上
市村 勲	沢海 中
安彦 保雄	焼山 上
栗山 利助	木津 上
石山 榮	木津 中
戸松 祐作	木津 下
山田 宏一	二本木 上
仲村 村一	二本木 中
青木 誠	二本木 下
残間 征太郎	小杉 上
豊崎 寅一	小杉 中
長谷川 繁	小杉 下
皆川 正直	藤山 上
和澄 鉄男	藤山 下

※今年度から、嘱託員の名称が「区長」に変わりました。

